

設置計画履行状況等調査の結果について (令和4年度)

1. 調査の概要

設置計画履行状況等調査（以下「調査」という。）は、大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成18年文部科学省令第12号）第14条（※1参照）に基づき、大学・大学院，短期大学，高等専門学校（以下「大学等」という。）の設置認可時等における附帯事項及び授業科目の開設状況，教員組織の整備状況，その他の設置計画の履行状況について，各大学等から報告を求め，大学設置・学校法人審議会大学設置分科会において，学問的・専門的な観点から調査を行い，各大学等の教育水準の維持・向上及びその主体的な改善・充実に資することを目的として実施しているものである。

2. 調査対象

調査は，原則として，開設年度に入学した学生が卒業する年度（以下「完成年度」という。）までの間，認可を受けた者又は届出を行った者に対して書面調査を実施し，必要に応じて，面接調査，実地調査を行っている。

なお，調査で指摘された対応が不十分な大学等については，完成年度後も継続して調査を行う場合がある。

3. 令和4年度調査結果の概要

調査対象校数は全381校（うち，完成年度後も継続して調査を行った対象校数は8校）1,104学科等であった。

調査は，大学等の設置計画に対する履行状況を確認の上，必要に応じて改善等を求めるものであり，令和4年度の調査の結果，設置計画の履行状況に対して指摘が付された大学等は83校であった。（表1及び別添参照）

具体的な指摘の例は，以下のとおり。

- 大幅な入学定員の未充足が続いている大学等（46校）や，大幅に入学定員を超過している大学等（4校）など，収容定員が適切に管理されておらず，結果として教育にふさわしい環境が確保されているか危惧される事例
- 専任教員が辞任等している中で，十分な補充の検討がなされていない状態の大学等など，設置計画で示された教員組織が適切に編制されておらず，学生に対する教育の質の低下が危惧される事例（8校）

- 他の教育機関への転学や学修意欲の低下等により、多くの退学者等を出しているため、退学等の理由を踏まえた退学者等の減少のための効果的な取組が求められる事例（2校）

各申請者においては、設置計画が「社会に対する『約束』」であることを十分認識し、安易に設置計画を変更することなく、それぞれの人材養成の目的の実現に向けて、確実に履行することを改めて強く求めたい。

表 1

	国立	公立	私立	計
調査対象校	70校	29校	282校	381校
うち、指摘が付された大学等	0校	2校	81校	83校
指摘事項（法令違反）が付された大学等	0校	0校	0校	0校
指摘事項（是正）が付された大学等	0校	0校	6校	6校
指摘事項（改善）が付された大学等	0校	2校	78校	80校

（注）同一校に各区分の指摘事項が付された場合にはそれぞれで計上している。

4. 設置計画履行状況報告書等の情報公開

履行状況を記載した設置計画履行状況報告書等は、社会に対する説明責任を果たすために、各大学等のウェブサイト等を利用し、情報を必要とする者が容易に確認できるよう積極的に公開することが求められる。

なお、本調査の結果は、全ての大学が受けることを義務付けられている「認証評価」（※2参照）と有機的な連携が図られるよう各認証評価機関に対して送付するとともに、有益な情報として活用されるよう都道府県の高等学校担当部署（教育委員会及び私立学校所管部局）に対しても送付する。

参 考

1. 用語の定義

種類	定義
附帯事項	認可を受けた者が設置計画を履行するに当たって遵守すべき事項及び充実することが望まれる事項
指摘事項(法令違反)	設置計画履行状況等調査の結果、法令に抵触すると認められる事項があり、認可を受けた者又は届出を行った者に対して、必要な措置をとることを求める事項
指摘事項(是正)	設置計画履行状況等調査の結果、設置計画の履行状況が不適當な事項があり、認可を受けた者又は届出を行った者に対して、是正を求める事項
指摘事項(改善)	設置計画履行状況等調査の結果、充実や改善が望まれる事項があり、認可を受けた者又は届出を行った者に対してこれを通知する事項

2. 関係法令

- ※1 「大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成18年3月31日文科省令第12号）」（抄）
第14条 文部科学大臣は、設置計画及び留意事項の履行の状況を確認するため必要があると認めるときは、認可を受けた者又は届出を行った者に対し、その設置計画及び留意事項の履行の状況について報告を求め、又は調査を行うことができる。
- ※2 「学校教育法（昭和22年3月31日法律第26号）」（抄）
第109条（略）
2 大学は、前項の措置に加え、当該大学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者（以下「認証評価機関」という。）による評価（以下「認証評価」という。）を受けるものとする。ただし、認証評価機関が存在しない場合その他特別の事由がある場合であつて、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。
3 専門職大学等又は専門職大学院を置く大学にあつては、前項に規定するもののほか、当該専門職大学等又は専門職大学院の設置の目的に照らし、当該専門職大学等又は専門職大学院の教育課程、教員組織その他教育研究活動の状況について、政令で定める期間ごとに、認証評価を受けるものとする。ただし、当該専門職大学等又は専門職大学院の課程に係る分野について認証評価を行う認証評価機関が存在しない場合その他特別の事由がある場合であつて、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。
4 （略）

○「指摘事項（是正）」が付された大学等

別添

No.	設置者区分	大学名等	指摘事項（是正）の内容
18	私立	東京通信大学	「情報マネジメント学部情報マネジメント学科（通信教育課程）」 ○入学定員超過率が令和4年度は1.29倍と昨年度の2.06倍から大幅に改善されたものの、平均入学定員超過率は1.53倍と昨年度から上昇しており、依然として著しく高い。そのため、提示された定員超過の是正に向けた改善計画を確実に実施する等、適切な対策を実施することにより、入学定員超過を是正に努めること。
19	私立	松蔭大学	「コミュニケーション文化学部子ども学科」 ○平均入学定員超過率が0.29倍と依然として著しく低い状態が継続している。早急に入学定員の充足に向けて効果的な改善策を講ずる必要があるが、学生確保に向け、現状分析を踏まえた改善策の検討が十分なされていないと見受けられることから、令和5年度入学者選抜の結果も含め早急に詳細な分析を行った上で令和6年度の入学定員の充足に向けた新たな措置を講じることにより、入学定員の充足に努めること。なお、令和6年度以降の入学定員の見直しも引き続き検討すること。
46	私立	滋慶医療科学大学	「医療科学部臨床工学科」 ○平均入学定員超過率が0.22倍と著しく低い。教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、より効果的な改善策を新たに講じる等、入学定員の更なる充足に努めること。また、当該分析を踏まえ、入学定員の見直しも検討すること。
51	私立	園田学園女子大学	「経営学部ビジネス学科」 ○平均入学定員超過率が0.15倍と著しく低い。教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、より効果的な改善策を新たに講じる等、入学定員の更なる充足に努めること。また、当該分析を踏まえ、入学定員の見直しも検討すること。
82	私立専短	せとうち観光専門職短期大学	「観光振興学科」 ○平均入学定員超過率が0.17倍と著しく低い。教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、速やかに長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、より効果的な改善策を新たに講じる等、入学定員の更なる充足に努めること。また、当該分析を踏まえ、入学定員の見直しも検討すること。
83	私立高専	国際高等専門学校	「国際理工学科」 ○入学定員超過率が令和4年度は0.37倍と昨年度の0.20倍から改善されたものの、平均入学定員超過率は0.23倍と依然として著しく低い。教育内容の更なる充実を図りつつ、教育環境や教育内容の特色について、多様なメディアによる情報発信を通じて広く周知に努めるとともに、学生確保に向けて、客観的根拠となるデータ等の分析を踏まえた上で、より効果的な学生募集のための施策を講じる等、令和5年度から変更する入学定員の充足に努めること。

(注) 「No.」欄の数字は「令和4年度 設置計画履行状況等調査結果」の「No.」欄の数字と一致している。

(注) 「設置者区分」欄について、私立大学は「私立」、私立専門職短期大学は「私立専短」、私立高等専門学校は「私立高専」と記載している。

○「指摘事項（改善）」が付された大学等

※は、「指摘事項（是正）」も付されている大学等。

No.	設置者区分	大学名等
1	公立	公立小松大学大学院
2	公立	長野大学大学院
3	私立	日本医療大学
4	私立	北海道科学大学
5	私立	北海道文教大学
6	私立	岩手保健医療大学大学院
7	私立	石巻専修大学
8	私立	医療創生大学
9	私立	群馬パース大学
10	私立	高崎健康福祉大学 高崎健康福祉大学大学院
11	私立	尚美学園大学
12	私立	東都大学
13	私立	聖徳大学
14	私立	玉川大学
15	私立	東海大学
16	私立	東京医療保健大学
17	私立	東京成徳大学
19	私立	松蔭大学 ※
20	私立	湘南医療大学
21	私立	湘南鎌倉医療大学大学院
22	私立	洗足学園音楽大学
23	私立	新潟産業大学
24	私立	金沢学院大学
25	私立	長野保健医療大学大学院
26	私立	松本看護大学
27	私立	岐阜保健大学
28	私立	静岡理工科大学

No.	設置者区分	大学名等
29	私立	愛知学泉大学
30	私立	愛知大学
31	私立	修文大学
32	私立	同朋大学大学院
33	私立	名古屋産業大学
34	私立	名古屋女子大学
35	私立	名古屋柳城女子大学
36	私立	鈴鹿医療科学大学
37	私立	京都光華女子大学
38	私立	京都精華大学
39	私立	京都先端科学大学大学院
40	私立	明治国際医療大学大学院
41	私立	大阪青山大学
42	私立	大阪樟蔭女子大学
43	私立	大阪信愛学院大学
44	私立	大阪成蹊大学
45	私立	大阪人間科学大学
47	私立	四天王寺大学大学院
48	私立	関西国際大学 関西国際大学大学院
49	私立	神戸松蔭女子学院大学
50	私立	神戸女子大学
51	私立	園田学園女子大学 ※
52	私立	兵庫大学大学院
53	私立	高野山大学
54	私立	和歌山信愛大学
55	私立	広島国際大学
56	私立	広島文教大学

No.	設置者区分	大学名等
57	私立	安田女子大学
58	私立	宇部フロンティア大学
59	私立	高知学園大学
60	私立	久留米工業大学
61	私立	第一薬科大学
62	私立	日本経済大学
63	私立	福岡看護大学大学院
64	私立	福岡国際医療福祉大学
65	私立	令和健康科学大学
66	私立	佐久大学
67	私立	尚綱大学
68	私立	崇城大学
69	私立	鹿児島純心女子大学
70	私立	第一工科大学
71	私立	沖縄大学
72	私立専大	アール医療専門職大学
73	私立専大	東京保健医療専門職大学
74	私立専大	開志専門職大学
75	私立専大	かなざわ食マネジメント専門職大学
76	私立専大	びわこリハビリテーション専門職大学
77	私立専大	和歌山リハビリテーション専門職大学
78	私立専大	岡山医療専門職大学
79	私立短大	弘前医療福祉大学短期大学部
80	私立短大	滋賀短期大学
81	私立短大	大阪健康福祉短期大学
82	私立専短	せとうち観光専門職短期大学 ※

(注) 「No.」欄の数字は「令和4年度 設置計画履行状況等調査結果」の「No.」欄の数字と一致している。

(注) 「設置者区分」欄について、公立大学は「公立」、私立大学は「私立」、私立専門職大学は「私立専大」、私立短期大学は「私立短大」、私立専門職短期大学は「私立専短」と記載している。

○指摘事項が付されなかった大学等

設置者区分	大学名等
国立	北海道大学
国立	北海道教育大学大学院
国立	室蘭工業大学
国立	旭川医科大学
国立	北見工業大学大学院
国立	弘前大学
国立	東北大学
	東北大学大学院
国立	宮城教育大学
	宮城教育大学大学院
国立	秋田大学
	秋田大学大学院
国立	山形大学
	山形大学大学院
国立	福島大学
	福島大学大学院
国立	茨城大学大学院
国立	筑波大学
	筑波大学大学院
国立	宇都宮大学
	宇都宮大学大学院
国立	群馬大学
国立	埼玉大学
	埼玉大学大学院
国立	千葉大学
	千葉大学大学院
国立	東京大学
	東京医科歯科大学
	東京医科歯科大学大学院
国立	東京外国語大学
国立	東京農工大学
国立	横浜国立大学大学院
国立	新潟大学
国立	長岡技術科学大学
	長岡技術科学大学大学院
国立	上越教育大学大学院
国立	富山大学
	富山大学大学院
国立	金沢大学
	金沢大学大学院
国立	福井大学
国立	山梨大学
国立	信州大学
国立	岐阜大学
	岐阜大学大学院
国立	浜松医科大学
	浜松医科大学大学院
国立	名古屋大学
	名古屋大学大学院
国立	愛知教育大学
	愛知教育大学大学院
国立	名古屋工業大学
	名古屋工業大学大学院
国立	三重大学
	三重大学大学院
国立	滋賀大学大学院
国立	滋賀医科大学
国立	京都大学
	京都大学大学院
国立	京都教育大学大学院
国立	大阪大学
	大阪大学大学院
国立	大阪教育大学大学院
国立	神戸大学
国立	奈良教育大学大学院
国立	奈良女子大学
	奈良女子大学大学院
国立	和歌山大学大学院

設置者区分	大学名等
国立	鳥取大学
	鳥取大学大学院
国立	島根大学
	島根大学大学院
国立	岡山大学
国立	広島大学
	広島大学大学院
国立	山口大学
	山口大学大学院
国立	徳島大学
	徳島大学大学院
国立	香川大学
	香川大学大学院
国立	愛媛大学
	愛媛大学大学院
国立	高知大学
	高知大学大学院
国立	福岡教育大学大学院
国立	九州大学
	九州大学大学院
国立	九州工業大学大学院
国立	佐賀大学
	佐賀大学大学院
国立	長崎大学
	長崎大学大学院
国立	熊本大学
	熊本大学大学院
国立	大分大学
国立	宮崎大学
国立	鹿児島大学
	鹿児島大学大学院
国立	鹿屋体育大学大学院
国立	琉球大学
	琉球大学大学院
国立	北陸先端科学技術大学院大学
公立	秋田県立大学大学院
公立	福島県立医科大学
	福島県立医科大学大学院
公立	神奈川県立保健福祉大学大学院
公立	横浜市立大学
	横浜市立大学大学院
公立	川崎市立看護大学
公立	三条市立大学
公立	富山県立大学
	富山県立大学大学院
公立	山梨県立大学大学院
公立	長野県立大学大学院
公立	情報科学芸術大学院大学
公立	静岡県立大学大学院
公立	静岡社会健康医学大学院大学
公立	新潟県立大学
公立	福知山公立大学
公立	大阪公立大学
	大阪公立大学大学院
公立	兵庫県立大学
	兵庫県立大学大学院
公立	和歌山県立医科大学
公立	島根県立大学
公立	叡啓大学
公立	県立広島大学
	県立広島大学大学院
公立	広島市立大学大学院
公立	山陽小野田市立山口東京理科大学
公立	長崎県立大学大学院
公立	名城大学大学院
公立専大	静岡県立農林環境専門職大学
公立専大	芸術文化観光専門職大学
公立短大	三重短期大学

設置者区分	大学名等
私立	札幌学院大学
私立	札幌国際大学
私立	天使大学
私立	藤女子大学
私立	北翔大学大学院
私立	北海道医療大学
私立	北海道科学大学大学院
私立	八戸学院大学
私立	八戸工業大学
私立	岩手医科大学
私立	尚綱学院大学
私立	東北工業大学
私立	東北生活文化大学
私立	東北文化学園大学
私立	東北文科大学
私立	医療創生大学大学院
私立	常磐大学大学院
私立	日本ウェルネススポーツ大学
私立	国際医療福祉大学
私立	自治医科大学
私立	獨協医科大学
私立	共愛学園前橋国際大学
私立	群馬医療福祉大学
私立	浦和大学
私立	埼玉医科大学
私立	十文字学園女子大学
私立	淑徳大学
私立	駿河台大学
私立	日本赤十字看護大学
私立	日本医療科学大学
私立	日本工業大学
私立	日本薬科大学大学院
私立	文教大学
私立	植草学園大学
私立	神田外語大学
私立	敬愛大学
私立	東京基督教大学
私立	明海大学
私立	麗澤大学
私立	麗澤大学大学院
私立	和洋女子大学
私立	青山学院大学
私立	桜美林大学
	桜美林大学大学院
私立	北里大学
私立	共立女子大学
私立	杏林大学
	杏林大学大学院
私立	駒澤大学大学院
私立	芝浦工業大学
	芝浦工業大学大学院
私立	社会構想大学院大学
私立	順天堂大学
私立	上智大学大学院
私立	昭和大学
私立	昭和女子大学
私立	成蹊大学
私立	専修大学
私立	創価大学大学院
私立	大正大学
私立	拓殖大学
私立	中央大学
私立	津田塾大学
私立	帝京科学大学大学院
私立	帝京大学
	帝京大学大学院
私立	帝京平成大学
私立	東海大学大学院

設置者区分	大学名等
私立	東京医科大学
私立	東京医療保健大学大学院
私立	東京家政大学
私立	東京経済大学
私立	東京工科大学
	東京工科大学大学院
私立	東京工芸大学
私立	東京国際大学
私立	東京慈恵会医科大学
私立	東京電機大学大学院
私立	東京都市大学
	東京都市大学大学院
私立	東京農業大学大学院
私立	東京理科大学
	東京理科大学大学院
私立	東邦大学
私立	東洋大学
私立	二松学舎大学
	二松学舎大学大学院
私立	日本大学
私立	日本医科大学
私立	日本女子体育大学
私立	日本体育大学大学院
私立	文京学院大学大学院
私立	法政大学
	法政大学大学院
私立	武蔵大学
私立	武蔵野大学
	武蔵野大学大学院
私立	武蔵野美術大学
	武蔵野美術大学大学院
私立	明星大学
	明星大学大学院
私立	目白大学
私立	ヤマザキ動物看護大学
	ヤマザキ動物看護大学大学院
私立	立教大学
	立教大学大学院
私立	立正大学
私立	神奈川工科大学
私立	神奈川大学
私立	國學院大学
私立	湘南鎌倉医療大学
私立	星槎大学大学院
私立	聖マリアンナ医科大学
私立	田園調布学園大学
私立	横浜薬科大学大学院
私立	長岡大学
私立	長岡崇徳大学
私立	新潟医療福祉大学
私立	新潟食料農業大学大学院
私立	金沢医科大学
私立	北陸大学
私立	福井医療大学大学院
私立	清泉女学院大学
	清泉女学院大学大学院
私立	長野保健医療大学
私立	松本大学大学院
私立	岐阜医療科学大学
私立	岐阜協立大学

設置者区分	大学名等
私立	岐阜保健大学大学院
私立	静岡産業大学
私立	愛知医科大学
私立	愛知学院大学
私立	愛知産業大学
私立	金城学院大学
	金城学院大学大学院
私立	至学館大学
私立	大同大学
私立	中京大学
私立	中部大学大学院
私立	豊田工業大学
私立	名古屋外国語大学
私立	名古屋学芸大学
私立	名古屋商科大学
私立	南山大学
私立	日本福祉大学
	日本福祉大学大学院
私立	人間環境大学
私立	藤田医科大学
	藤田医科大学大学院
私立	名城大学
私立	鈴鹿大学
私立	四日市看護医療大学
私立	長浜バイオ大学
私立	大谷大学
私立	京都外国語大学
私立	京都産業大学
	京都産業大学大学院
私立	京都女子大学
私立	京都先端科学大学
私立	京都橘大学
	京都橘大学大学院
私立	京都美術工芸大学
	京都美術工芸大学大学院
私立	京都文教大学
私立	同志社女子大学
	同志社女子大学大学院
私立	佛教大学
私立	明治国際医療大学
私立	立命館大学
	立命館大学大学院
私立	龍谷大学
私立	藍野大学
私立	追手門学院大学
私立	大阪医科薬科大学
私立	大阪大谷大学大学院
私立	大阪河崎リハビリテーション大学大学院
私立	大阪経済法科大学
私立	大阪工業大学
私立	大阪産業大学
私立	大阪歯科大学大学院
私立	大阪総合保育大学
私立	大阪電気通信大学大学院
私立	関西医科大学
	関西医科大学大学院
私立	近畿大学
私立	四天王寺大学
私立	摂南大学
私立	千里金蘭大学大学院

設置者区分	大学名等
私立	桃山学院教育大学
私立	桃山学院大学
私立	森ノ宮医療大学
	森ノ宮医療大学大学院
私立	大和大学
私立	大手前大学
私立	関西学院大学
私立	甲南女子大学
私立	神戸親和女子大学
私立	神戸常盤大学
私立	帝塚山大学
私立	兵庫医科大学
	兵庫医科大学大学院
私立	兵庫大学
私立	武庫川女子大学
	武庫川女子大学大学院
私立	畿央大学
私立	奈良学園大学
私立	宝塚医療大学
私立	岡山理科大学
	岡山理科大学大学院
私立	川崎医科大学
私立	川崎医療福祉大学
	川崎医療福祉大学大学院
私立	環太平洋大学
私立	山陽学園大学
私立	ノートルダム清心女子大学
私立	広島経済大学
私立	広島工業大学
私立	広島文化学園大学大学院
私立	西南学院大学
私立	梅光学院大学
私立	聖カタリナ大学大学院
私立	松山大学
私立	九州共立大学
	九州共立大学大学院
私立	久留米大学
私立	サイバー大学
私立	聖マリア学院大学
私立	第一薬科大学大学院
私立	西九州大学大学院
私立	熊本保健科学大学
私立	日本文理大学
私立	別府大学大学院
私立	九州保健福祉大学
私立	志学館大学
私立専大	国際ファッション専門職大学
私立専大	情報経営イノベーション専門職大学
私立専大	東京国際工科専門職大学
私立専大	名古屋国際工科専門職大学
私立専大	大阪国際工科専門職大学
私立専大	高知リハビリテーション専門職大学
私立短大	仙台青葉学院短期大学
私立短大	東京経営短期大学
私立短大	大阪国際大学短期大学部
私立短大	大手前短期大学
国立高専	長野工業高等専門学校
国立高専	鳥羽商船高等専門学校
国立高専	米子工業高等専門学校

(注) 「設置者区分」欄について、国立大学は「国立」、国立高等専門学校は「国立高専」、公立大学は「公立」、公立専門職大学は「公立専大」、公立短期大学は「公立短大」、私立大学は「私立」、私立専門職大学は「私立専大」、私立短期大学は「私立短大」と記載している。

令和4年度 設置計画履行状況等調査結果

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項		
1	公立	公立小松大学大学院	認可	R4	大学院設置	サステイナブルシステム科学研究科	生産システム科学専攻 (M)		○ 専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。(サステイナブルシステム科学研究科ヘルスケアシステム科学専攻 (M))	指摘事項 (改善)	
							ヘルスケアシステム科学専攻 (M)				
							グローバル文化科学専攻 (M)				
2	公立	長野大学大学院	認可	R3	大学院設置	総合福祉学研究所	社会福祉学専攻 (M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(総合福祉学研究所社会福祉学専攻 (M))	指摘事項 (改善)	
							社会福祉学専攻 (D)				○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(総合福祉学研究所社会福祉学専攻 (D))
							発達支援学専攻 (M)				
3	私立	日本医療大学	認可	R4	学部設置	総合福祉学部	介護福祉マネジメント学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(総合福祉学部介護福祉マネジメント学科)	指摘事項 (改善)	
							ソーシャルワーク学科				○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(総合福祉学部ソーシャルワーク学科)
							学部学科設置	保健医療学部 臨床工学科			
4	私立	北海道科学大学	認可	H30	学部設置	薬学部	薬学科	○ 専任教員数が設置計画から減少しており、教育の質の低下が危惧されるため、設置計画に示されている専任教員数を確実に確保するための採用計画を立案し、確実に履行するよう努めること。(薬学部薬学科)	指摘事項 (改善)		

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
5	私立	北海道文教大学	届出	R3	学部設置	国際学部	国際教養学科		○ 専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。(国際学部国際教養学科)	指摘事項(改善)
							国際コミュニケーション学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(国際学部国際教養学科)	指摘事項(改善)
									○ 北海道文教大学の既設学科等(人間科学部看護学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項(改善)
6	私立	岩手保健医療大学大学院	認可	R3	大学院設置	看護学研究科	看護学専攻(M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。(看護学研究科看護学専攻(M))	指摘事項(改善)
7	私立	石巻専修大学	届出	R3	学部学科設置	経営学部	情報マネジメント学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(経営学部情報マネジメント学科)	指摘事項(改善)
8	私立	医療創生大学	認可	H31	学部設置	健康医療科学部	作業療法学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(健康医療科学部作業療法学科)	指摘事項(改善)
							理学療法学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(心理学部臨床心理学科)	指摘事項(改善)
			届出	R2	学部設置	心理学部	臨床心理学科			
9	私立	群馬パース大学	届出	R3	学部設置	リハビリテーション学部	理学療法学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。(リハビリテーション学部言語聴覚学科)	指摘事項(改善)
							作業療法学科			
							言語聴覚学科			

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項
10	私立	高崎健康福祉大学	認可	H31	学部設置	農学部	生物生産学科		○ 高崎健康福祉大学の既設学科等（健康福祉学部社会福祉学科）の入学定員超過の改善に努めること。 指摘事項（改善）
		高崎健康福祉大学大学院	認可	R4	研究科設置	農学研究科	生物生産学専攻（M）		
							生物生産学専攻（D）		
11	私立	尚美学園大学	届出	R2	学部設置	スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科		○ 入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の改善に努めること。（スポーツマネジメント学部スポーツマネジメント学科） ○ 尚美学園大学の既設学科等（芸術情報学部情報表現学科）の入学定員超過の改善に努めること。 指摘事項（改善）
12	私立	東都大学	認可	H30	学部設置	管理栄養学部	管理栄養学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（管理栄養学部管理栄養学科） ○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（幕張ヒューマンケア学部臨床工学科） 指摘事項（改善）
				R3	学部学科設置	幕張ヒューマンケア学部	臨床工学科		

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項		
13	私立	聖徳大学	届出	R2	学部学科設置	音楽学部	音楽学科		○ 専任教員数が設置計画から減少しており、教育の質の低下が危惧されるため、設置計画に示されている専任教員数を確実に確保するための採用計画を立案し、確実に履行するよう努めること。（音楽学部音楽学科）	指摘事項 (改善)	
				R4	学部設置	教育学部	児童学科			○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（音楽学部音楽学科）	指摘事項 (改善)
								児童学科 (通信教育課程)		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（教育学部教育学科）	指摘事項 (改善)
								教育学科			
教育学科 (通信教育課程)											
14	私立	玉川大学	届出	R3	学部学科設置	芸術学部	音楽学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（芸術学部音楽学科）	指摘事項 (改善)	
							アート・デザイン学科		○ 玉川大学の既設学科等（工学部ソフトウェアサイエンス学科）の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)	
							演劇・舞踊学科				
15	私立	東海大学	届出	R4	学部学科設置	農学部	食生命科学科	○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（農学部食生命科学科）	指摘事項 (改善)		
16	私立	東京医療保健大学	届出	R2	学部設置	東が丘看護学部	看護学科	○ 多くの専任教員が就任辞退又は辞任しているが、原因分析や改善策が十分ではないため、教育研究水準の維持向上等に配慮した安定的な教員組織の編成のため、詳細な原因分析及びより効果的な改善策について検討すること。（東が丘看護学部看護学科）	指摘事項 (改善)		

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
17	私立	東京成徳大学	届出	H31	学部設置	国際学部	国際学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（国際学部国際学科）	指摘事項 (改善)
18	私立	東京通信大学	認可	H30	大学設置	情報マネジメント学部	情報マネジメント学科（通信教育課程）		○ 入学定員超過率が令和4年度は1.29倍と昨年度の2.06倍から大幅に改善されたものの、平均入学定員超過率は1.53倍と昨年度から上昇しており、依然として著しく高い。そのため、提示された定員超過の是正に向けた改善計画を確実に実施する等、適切な対策を実施することにより、入学定員超過を是正に努めること。（情報マネジメント学部情報マネジメント学科（通信教育課程））	指摘事項 (是正)
19	私立	松蔭大学	認可	H29	学部学科設置	コミュニケーション文化学部	子ども学科		○ 平均入学定員超過率が0.29倍と依然として著しく低い状態が継続している。早急に入学定員の充足に向けて効果的な改善策を講ずる必要があるが、学生確保に向け、現状分析を踏まえた改善策の検討が十分なされていないと見受けられることから、令和5年度入学者選抜の結果も含め早急に詳細な分析を行った上で令和6年度の入学定員の充足に向けた新たな措置を講ずることにより、入学定員の充足に努めること。なお、令和6年度以降の入学定員の見直しも引き続き検討すること。（コミュニケーション文化学部子ども学科）	指摘事項 (是正)
									○ 専任教員数が設置計画から減少しているが、教員の採用計画について、学生数は定員充足に向けて増加を見込む一方、専任教員数は定年退職する教員の補充に留（とど）まる計画となっており、学生規模、教育内容及び教員負担に応じた適切な教員の採用計画とは見受けられない。引き続き、教育の質の低下が懸念されることから、教員の採用計画を見直し、適切な教員組織の編制に努めること。（コミュニケーション文化学部子ども学科）	指摘事項 (改善)
20	私立	湘南医療大学	認可	R3	学部設置	薬学部	医療薬学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（薬学部医療薬学科）	指摘事項 (改善)

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
21	私立	湘南鎌倉医療大学大学院	認可	R4	大学院設置	看護学研究科	看護学専攻（M）		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（看護学研究科看護学専攻（D））	指摘事項（改善）
							看護学専攻（D）			
22	私立	洗足学園音楽大学	認可	H31	収容定員学則変更	音楽学部	音楽学科		○ 研究室の確保や利用について、レッスン室利用や共同利用などの利用状況を踏まえると大学設置基準に違反している状況とは見受けられないものの、研究を目的とした利用が少ないように見受けられる。また、共同研究費に関する学内規程が存在せず、かつ、研究成果報告等の提出を求めていることなどを踏まえると、研究に対する意識や取組が十分であるかについて疑義がある。大学は教育と研究を行うことを目的としていることを踏まえ、教員や学生の意見も聞きつつ、必要な規程の整備など研究についての適切な環境整備に留意すること。（音楽学部音楽学科）	指摘事項（改善）
23	私立	新潟産業大学	認可	R3	通信教育課程の開設	経済学部	経済経営学科（通信教育課程）		○ 比較的高い割合で退学者等が発生していることから、退学者等の理由を踏まえた退学者等の減少のための効果的な取組を着実に実行すること。（経済学部経済経営学科（通信教育課程））	指摘事項（改善）
24	私立	金沢学院大学	届出	R2	学部設置	経済学部	経済学科		○ 多くの専任教員が就任辞退又は辞任しているが、原因分析や改善策が十分ではないため、教育研究水準の維持向上等に配慮した安定的な教員組織の編成のため、詳細な原因分析及びより効果的な改善策について検討すること。（経済学部経営学科）	指摘事項（改善）
							経営学科			
							経済情報学部	経済情報学科		○ 多くの専任教員が就任辞退又は辞任しているが、原因分析や改善策が十分ではないため、教育研究水準の維持向上等に配慮した安定的な教員組織の編成のため、詳細な原因分析及びより効果的な改善策について検討すること。（経済情報学部経済情報学科）

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
25	私立	長野保健医療大学大学院	認可	R3	大学院設置	保健学研究科	保健学専攻 (M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(保健学研究科保健学専攻 (M))	指摘事項 (改善)
26	私立	松本看護大学	認可	R3	大学設置	看護学部	看護学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(看護学部看護学科)	指摘事項 (改善)
27	私立	岐阜保健大学	認可	R3	学部設置	リハビリテーション学部	理学療法学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(リハビリテーション学部理学療法学科)	指摘事項 (改善)
							作業療法学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(リハビリテーション学部作業療法学科)	指摘事項 (改善)
									○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(リハビリテーション学部作業療法学科)	指摘事項 (改善)
28	私立	静岡理工科大学	届出	R4	学部学科設置	理工学部	土木工学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(理工学部土木工学科)	指摘事項 (改善)
29	私立	愛知学泉大学	届出	R2	学部学科設置	家政学部	こどもの生活学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(家政学部こどもの生活学科)	指摘事項 (改善)
30	私立	愛知大学	届出	R3	学部学科設置	文学部	歴史地理学科		○ 愛知大学の既設学科等(文学部人文社会学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)
								日本語日本文学科		

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
31	私立	修文大学	認可	R2	学部設置	医療科学部	臨床検査学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（医療科学部臨床検査学科）	指摘事項 (改善)
32	私立	同朋大学大学院	届出	R2	研究科設置	人間学研究科	仏教人間学専攻(M)		○ 同朋大学の既設学科等（文学部仏教学科）の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)
							仏教人間学専攻(D)			
33	私立	名古屋産業大学	認可	R3	学部学科設置	現代ビジネス学部	経営専門職学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（現代ビジネス学部経営専門職学科）	指摘事項 (改善)
34	私立	名古屋女子大学	認可	R4	学部設置	医療科学部	理学療法学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（医療科学部作業療法学科）	指摘事項 (改善)
							作業療法学科			
35	私立	名古屋柳城女子大学	認可	R2	大学設置	こども学部	こども学科		○ 専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。（こども学部こども学科）	指摘事項 (改善)
									○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（こども学部こども学科）	指摘事項 (改善)
36	私立	鈴鹿医療科学大学	届出	R4	学部学科設置	保健衛生学部	救急救命学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（保健衛生学部救急救命学科）	指摘事項 (改善)
37	私立	京都光華女子大学	届出	R4	学部等連係課程実施基本組織の設置	人間健康学群			○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（人間健康学群）	指摘事項 (改善)

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
38	私立	京都精華大学	届出	R3	学部設置	国際文化学部	グローバルスタディーズ学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(国際文化学部グローバルスタディーズ学科)	指摘事項(改善)
							人文学科			
39	私立	京都先端科学大学大学院	届出	R4	専攻設置又は課程変更	経営学研究科	経営管理専攻(M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(経営学研究科経営管理専攻(M))	指摘事項(改善)
40	私立	明治国際医療大学大学院	届出	R4	専攻設置又は課程変更	保健医療学研究科	保健学専攻(M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(保健医療学研究科保健学専攻(M))	指摘事項(改善)
41	私立	大阪青山大学	届出	R4	学部設置	子ども教育学部	子ども教育学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(子ども教育学部子ども教育学科)	指摘事項(改善)
42	私立	大阪樟蔭女子大学	認可	H31	収容定員学則変更	児童教育学部	児童教育学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(児童教育学部児童教育学科)	指摘事項(改善)
43	私立	大阪信愛学院大学	認可	R4	大学設置	教育学部	教育学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(教育学部教育学科)	指摘事項(改善)
						看護学部	看護学科			
44	私立	大阪成蹊大学	届出	R4	学部設置	国際観光学部	国際観光学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(国際観光学部国際観光学科)	指摘事項(改善)

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項			
45	私立	大阪人間科学大学	届出	R2	学部設置	保健医療学部	理学療法学科		○ 比較的高い割合で退学者等が発生していることから、退学者等の理由を踏まえた退学者等の減少のための効果的な取組を着実に実行すること。(保健医療学部作業療法学科)	指摘事項 (改善)		
							作業療法学科				○ 比較的高い割合で退学者等が発生していることから、退学者等の理由を踏まえた退学者等の減少のための効果的な取組を着実に実行すること。(保健医療学部言語聴覚学科)	指摘事項 (改善)
							言語聴覚学科					
46	私立	滋慶医療科学大学	認可	R3	学部設置	医療科学部	臨床工学科		○ 平均入学定員超過率が0.22倍と著しく低い。教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、より効果的な改善策を新たに講じる等、入学定員の更なる充足に努めること。また、当該分析を踏まえ、入学定員の見直しも検討すること。(医療科学部臨床工学科)	指摘事項 (是正)		
47	私立	四天王寺大学大学院	認可	R2	研究科設置	看護学研究科	看護学専攻(M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(看護学研究科看護学専攻(D))	指摘事項 (改善)		
							看護学専攻(D)					
48	私立	関西国際大学	届出	R3	学部設置	社会学部	社会学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(社会学部社会学科)	指摘事項 (改善)		
							学部学科設置	国際コミュニケーション学部			観光学科	○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(国際コミュニケーション学部観光学科)
		関西国際大学大学院	認可	R2	専攻設置又は課程変更	看護学研究科	看護学専攻(D)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(看護学研究科看護学専攻(D))	指摘事項 (改善)		

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
49	私立	神戸松蔭女子学院大学	届出	H31	学部設置	教育学部	教育学科		<p>○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（教育学部教育学科）</p>	指摘事項 (改善)
50	私立	神戸女子大学	認可	R3	収容定員学則変更	文学部	国際教養学科		<p>○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（文学部国際教養学科）</p>	指摘事項 (改善)
51	私立	園田学園女子大学	認可	R3	学部設置	経営学部	ビジネス学科		<p>○ 平均入学定員超過率が0.15倍と著しく低い。教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、より効果的な改善策を新たに講じる等、入学定員の更なる充足に努めること。また、当該分析を踏まえ、入学定員の見直しも検討すること。（経営学部ビジネス学科）</p> <p>○ 専任教員数が設置計画から減少しており、教育の質の低下が危惧されるため、設置計画に示されている専任教員数を確実に確保するための採用計画を立案し、確実に履行するよう努めること。（経営学部ビジネス学科）</p>	指摘事項 (是正) 指摘事項 (改善)
52	私立	兵庫大学大学院	認可	R2	研究科設置	看護学研究科	看護学専攻(M)		<p>○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（看護学研究科看護学専攻(D)）</p>	指摘事項 (改善)
							看護学専攻(D)			
53	私立	高野山大学	認可	R3	学部学科設置	文学部	教育学科		<p>○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（文学部教育学科）</p> <p>○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（文学部教育学科）</p>	指摘事項 (改善) 指摘事項 (改善)

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
54	私立	和歌山信愛大学	認可	H31	大学設置	教育学部	子ども教育学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（教育学部子ども教育学科）	指摘事項 (改善)
55	私立	広島国際大学	届出	R2	学部設置	健康科学部	医療福祉学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（健康科学部医療福祉学科）	指摘事項 (改善)
							医療経営学科			
							心理学科			
							医療栄養学科			
56	私立	広島文教大学	届出	H31	学部設置	教育学部	教育学科	初等教育専攻	○ 広島文教大学の既設学科等（人間科学部心理学科）の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)
								中等教育専攻		
57	私立	安田女子大学	届出	R2	学部学科設置	現代ビジネス学部	公共経営学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（現代ビジネス学部公共経営学科）	指摘事項 (改善)
58	私立	宇部フロンティア大学	届出	R2	学部設置	心理学部	心理学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（心理学部心理学科）	指摘事項 (改善)

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
59	私立	高知学園大学	認可	R2	大学設置	健康科学部	管理栄養学科 臨床検査学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（健康科学部管理栄養学科）	指摘事項 (改善)
60	私立	久留米工業大学	認可	H31	収容定員学則変更	工学部	建築・設備工学科 情報ネットワーク工学科 教育創造工学科		○ 入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の改善に努めること。（工学部建築・設備工学科） ○ 入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の改善に努めること。（工学部情報ネットワーク工学科）	指摘事項 (改善) 指摘事項 (改善)
61	私立	第一薬科大学	届出	R4	学部学科設置	薬学部	薬科学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（薬学部薬科学科）	指摘事項 (改善)
62	私立	日本経済大学	届出	H30	学部学科設置	経営学部	グローバルビジネス学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（経営学部グローバルビジネス学科）	指摘事項 (改善)
63	私立	福岡看護大学大学院	認可	R3	大学院設置	看護学研究科	看護学専攻（M）		○ 専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めるとともに、今後、新たに教員の採用及び昇格の選考を行う際には設置計画履行状況等調査における教員審査を受審すること。（看護学研究科看護学専攻（M））	指摘事項 (改善)
64	私立	福岡国際医療福祉大学	認可	H31	大学設置	医療学部	理学療法学科 作業療法学科 視能訓練学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（医療学部視能訓練学科）	指摘事項 (改善)

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項			
65	私立	令和健康科学大学	認可	R4	大学設置	看護学部	看護学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(リハビリテーション学部作業療法学科)	指摘事項 (改善)		
						リハビリテーション学部	理学療法学科				○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(リハビリテーション学部作業療法学科)	指摘事項 (改善)
							作業療法学科					
66	私立	佐久大学	認可	R3	学部設置	人間福祉学部	人間福祉学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(人間福祉学部人間福祉学科)	指摘事項 (改善)		
67	私立	尚綱大学	届出	H30	学部設置	現代文化学部	文化コミュニケーション学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(現代文化学部文化コミュニケーション学科)	指摘事項 (改善)		
68	私立	崇城大学	届出	R4	学部学科設置	生物生命学部	生物生命学科		○ 崇城大学の既設学科等(工学部建築学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)		
69	私立	鹿児島純心女子大学	届出	H31	学部設置	人間教育学部	教育・心理学科	初等・中等(英語)教育専攻	○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(人間教育学部教育・心理学科)	指摘事項 (改善)		
								心理・文化専攻				
70	私立	第一工科大学	届出	H31	学部設置	航空工学部	航空工学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(航空工学部航空工学科)	指摘事項 (改善)		
71	私立	沖縄大学	認可	H31	学部設置	健康栄養学部	管理栄養学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(健康栄養学部管理栄養学科)	指摘事項 (改善)		

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
72	私立専大	アール医療専門職大学	認可	R4	専門職大学設置	リハビリテーション学部	理学療法学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（リハビリテーション学部理学療法学科）	指摘事項 (改善)
							作業療法学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（リハビリテーション学部作業療法学科）	指摘事項 (改善)
73	私立専大	東京保健医療専門職大学	認可	R2	専門職大学設置	リハビリテーション学部	作業療法学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（リハビリテーション学部作業療法学科）	指摘事項 (改善)
							理学療法学科			
74	私立専大	開志専門職大学	認可	R3	学部設置	アニメ・マンガ学部	アニメ・マンガ学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科）	指摘事項 (改善)
75	私立専大	かなざわ食マネジメント専門職大学	認可	R3	専門職大学設置	フードサービスマネジメント学部	フードサービスマネジメント学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（フードサービスマネジメント学部フードサービスマネジメント学科）	指摘事項 (改善)
									○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（フードサービスマネジメント学部フードサービスマネジメント学科）	指摘事項 (改善)
76	私立専大	びわこリハビリテーション専門職大学	認可	R2	専門職大学設置	リハビリテーション学部	理学療法学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（リハビリテーション学部作業療法学科）	指摘事項 (改善)
							作業療法学科			

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
77	私立専大	和歌山リハビリテーション専門職大学	認可	R3	専門職大学設置	健康科学部	リハビリテーション学科	理学療法専攻	○教育課程連携協議会は、産業界及び地域社会との連携により、教育課程を編成し、円滑かつ効果的に実施するために設置されるものであることを認識するとともに、定期的な開催はもとより、教育課程の不断の見直しに資するよう適切に運用すること。（健康科学部リハビリテーション学科）	指摘事項 (改善)
							作業療法専攻	○教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（健康科学部リハビリテーション学科）	指摘事項 (改善)	
78	私立専大	岡山医療専門職大学	認可	R2	専門職大学設置	健康科学部	理学療法学科		○教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（健康科学部理学療法学科）	指摘事項 (改善)
							作業療法学科	○教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（健康科学部作業療法学科）	指摘事項 (改善)	
79	私立短大	弘前医療福祉大学短期学部	届出	R4	短期大学学科設置	口腔衛生学科			○教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（口腔衛生学科）	指摘事項 (改善)
80	私立短大	滋賀短期大学	届出	R4	学科連係課程実施学科の設置	デジタルライフビジネス学科			○教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（デジタルライフビジネス学科）	指摘事項 (改善)
81	私立短大	大阪健康福祉短期大学	届出	R4	短期大学学科設置	地域総合介護福祉学科			○教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（地域総合介護福祉学科）	指摘事項 (改善)
82	私立専短	せとうち観光専門職短期大学	認可	R3	専門職短期大学設置	観光振興学科			○平均入学定員超過率が0.17倍と著しく低い。教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、速やかに長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、より効果的な改善策を新たに講じる等、入学定員の更なる充足に努めること。また、当該分析を踏まえ、入学定員の見直しも検討すること。（観光振興学科）	指摘事項 (是正)
								○定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（観光振興学科）	指摘事項 (改善)	

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項
83	私立高専	国際高等専門学校	届出	H30	高等専門学校学科設置	国際理工学科			<p>○ 入学定員超過率が令和4年度は0.37倍と昨年度の0.20倍から改善されたものの、平均入学定員超過率は0.23倍と依然として著しく低い。教育内容の更なる充実を図りつつ、教育環境や教育内容の特色について、多様なメディアによる情報発信を通じて広く周知に努めるとともに、学生確保に向けて、客観的根拠となるデータ等の分析を踏まえた上で、より効果的な学生募集のための施策を講じる等、令和5年度から変更する入学定員の充足に努めること。（国際理工学科）</p>